

平成 22 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

| | |
|---------------------------|--|
| 研究領域名 | 3次元構造を再構築する再生原理の解明 |
| 領域代表者 | 阿形 清和（京都大学・理学研究科・教授） |
| 研究期間 | 平成22年度～平成26年度 |
| 科学研究費補助金審査部会における所見 | <p>本研究領域は、高い再生能力を有する生物と再生できない生物を比較することにより、再生に至る原理や分子機構を明らかにするとともに、さらにその知見をマウスに展開し遺伝子操作による再生など、再生医療における新たな方向性を切り拓くことを目的としている。現在の再生医学は幹細胞研究に重点が置かれていて、組織や器官の再生原理を解明しようとする試みは取り残された感が否めない。この点からも本研究領域の目的は緊急性と重要性を兼ね備えたものであると言える。研究計画は目的達成のために明確なコンセプトと独創性の高い基礎データに基づいて立案されている。また、領域代表者はこれまでも高い業績と強いリーダーシップを持ち合わせており、計画研究も少数精鋭の厳選された研究者により構成されている点が評価できる。さらに、公募研究に関しては若手研究者の育成に重点を置いた点や、医療系の研究者にも広げた点が評価でき、挑戦的な課題に臨む新学術領域研究に相応しい研究と考えられ、再生における普遍的な原理の解明が期待できる。</p> |